

3月21日 弥生人の足跡にビックリ

矢野遺跡市民説明会

3月21日、矢野遺跡の平成18年度発掘調査の成果を発表する市民説明会を、出雲健康公園健康センターで開催しました。

矢野遺跡は、出雲ドームの南を流れる新内藤川周辺で発見され、弥生時代には出雲平野内で最大級の大規模集落が営まれていたと考えられています。平成13年度からの発掘調査以来、数多くの生活遺構・遺物が出土しています。

会場には、山陰で初めての出土となる弥生時代前期(約2500年前)の赤彩文土器をはじめとする弥生土器や、土笛、木製品、石器など多数が展示されました。参加者は、発掘担当者の説明を熱心に聞いた後、展示品をじっくりと見てまわり、「古代出雲はロマンがあっておもしろい」「弥生人の足跡にはビックリしました」などと感想を述べていました。

赤彩文土器は、土器の表面全体をうるしなどで黒くした上に、ベンガラと呼ばれる赤色顔料で模様を書いた土器です

弥生人の足跡は、ぬかるみを歩いた直後に河が増水し、流された砂が足跡に入ってしまったと考えられます



4月2日 交通事故ゼロのまちに

出雲市交通指導員委嘱式



西尾市長から交通指導員一人ひとりに委嘱状が手渡されました

4月2日、交通事故の防止に努める出雲市交通指導員の委嘱式が出雲市役所でありました。

このたび委嘱を受けた交通指導員は、総勢93人で任期は2年です。通学路での街頭指導や地域での交通安全教室の開催など、私たちの安心・安全を守る大切な活動を行います。

指導員を代表して妹尾房男さんは、「地域間の連携をとりつつ、交通意識の向上や交通ルール・交通マナーの徹底に取り組み、交通事故防止に努力することを誓います」と力強く決意を述べました。

いも話の話題

3月10・11日 県立古代出雲歴史博物館の開館を祝い、島根の伝統芸能が大社に集結

出雲祝祭劇場



古代出雲歴史博物館の開館を祝う屋台船

3月10日の県立古代出雲歴史博物館の開館にあわせて、10日・11日の2日間、オープニングイベント『出雲祝祭劇場～神話の国の三日月祭～』を開催しました。

古代出雲歴史博物館の風土記庭園では、地元で伝わる吉兆行事や大土地神楽をはじめ、石見神楽、隠岐のうたと踊りなど、島根の誇る伝統芸能が競演。また、周辺の出雲大社勢溜や神門通りでも物産市や各種芸能を上演する市民交流フェスティバルが行われるなど、多彩なイベントで開館を祝いました。

中でも、古代出雲歴史博物館から神門通りを練り歩く祝祭行列“出雲風流楽”は見ごたえがあり、和太鼓奏者の今福優さんなどを先頭に、屋台船や田囃子などの行列が続き、観客を楽しませました。



大迫力の巨大太鼓



息の合った田囃子